



国土を整え、全力で備える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料

令和8年3月19日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

令和7年度 中国地方整備局入札監視委員会 第二部会第2回定例会議の審議概要について

中国地方整備局入札監視委員会第二部会は、令和7年度第2回定例会議を令和8年1月29日（木）に開催し、令和7年4月1日から令和7年9月30日までの間に契約した工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の中から抽出した6件の事案について、入札及び契約の過程並びに契約内容について審議を行いました。

審議概要については、次頁以降にてお知らせします。

＜問い合わせ先＞

広島市中区東白島町14-15 NTTクレド白島ビル13階
中国地方整備局入札監視委員会第二部会事務局
082-511-3900（代表）

◎総務部 契約管理官

ひらもと けんじ
平本 健司（内線130）

港湾空港部 品質確保室長

ささき たかゆき
佐々木 隆之（内線250）

中国地方整備局入札監視委員会 第二部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	令和8年1月29日（木） 白島庁舎会議室		
委員	榊原 弘之 （大学院教授） 神野 礼斉 （大学院教授） 中川 隆喜 （公認会計士）		
審議対象期間	令和7年4月1日～令和7年9月30日		
抽出案件	計 6 件	(備考)	
工 事			
一般競争（政府調達に関する協定適用対象工事）	1 件	別紙1のとおり	
一般競争（政府調達に関する協定適用対象工事以外）	2 件	別紙1のとおり	
随意契約	1 件	別紙1のとおり	
建設コンサルタント業務等	1 件	別紙1のとおり	
役務の提供等及び物品の製造等	1 件	別紙1のとおり	
委員会からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回 答
	別紙2のとおり		別紙2のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

別紙1

【工事】

(一般競争入札方式: 政府調達に関する協定適用対象工事)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位: 千円)	落札率 (単位: %)
徳山下松港徳山地区岸壁(-14m)築造工事	港湾土木工事	4	4	令和7年5月23日	東亜・みらい特定建設工事共同企業体	901,010	91.52

(一般競争入札方式: 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位: 千円)	落札率 (単位: %)
水島港水島地区付帯施設工事	港湾土木工事	1	1	令和7年5月27日	天野産業(株)	156,200	98.87
境港湾・空港整備事務所庁舎工事	電気設備工事	2	2	令和7年7月2日	岡田電工株式会社	53,900	98.69

(随意契約方式)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位: 千円)	落札率 (単位: %)
境港湾・空港整備事務所みなとカメラ設備移設等工事	通信設備工事	—	—	令和7年4月1日	NECネットエスアイ(株)	9,590	100.00

【建設コンサルタント業務等】

(簡易公募型プロポーザル方式)

業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位: 千円)	落札率 (単位: %)
干潟造成技術検討業務	建設コンサルタント等	1	1	令和7年8月6日	干潟造成技術検討業務みなと総研・いであ設計共同体	39,765	99.48

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位: 千円)	落札率 (単位: %)
港湾業務艇「まつかぜ」運航	役務の提供等	1	1	令和7年4月23日	九船建設株式会社	20,127	99.76

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
1. 抽出案件の審議 ①「徳山下松港徳山地区岸壁(-14m)築造工事」 Q1. 大規模な案件にもかかわらず入札価格が近似値となっているが、僅差となる理由は何か。 Q2. 積算基準等や工事内容もある程度公表された上での入札であるから、価格も算定しやすいという説明だったと理解する。その中で、競争性を高めて少しでも入札額を低くするというのが入札の目的としてあると思うが、そのような努力をされているか。 本工事でもテーマを2つ設定しているが、工事の品質確保を重視しつつ、価格も求めた上で公告していると認識してよいか。 Q3. 「主任（監理）技術者等未経験者育成型」とあり、当該工事では活用して参加した業者はいないようだが、大規模な工事に参加する企業は、あまり活用されないのか。一般的にどのような傾向か。 Q4. ケーソン製作及び蓋ブロック製作を徳山ではなく下松で行ったのは何故か。 Q5. ワーク・ライフ・バランス等推進企業に対して加点評価があるが、具体的にどのような制度なのか。 ○この入札・契約は適切であると判断する。	A1. 参加業者へ見積参考資料を提示していること、かつ積算基準等が開示されていることから、具体的な条件を把握でき、価格が想定できる範囲の工事内容であったことが、僅差となったと理由と推測する。 A2. 価格を下げるという観点のみでの努力はしていない。極端な低価格での応札がされても品質を確保できるよう調査基準価格を設定している。一方、価格だけでなく品質の確保を重視し、工夫によって品質で競争できるテーマ設定をすることで、発注者側がもとめるものが、より優れた内容で契約がなされるという観点で、総合的に評価している。 そうである。 A3. 当該工事での活用はなかったが、他工事においては、大規模工事であっても技術者をつけて二人体制で申請をしてくる業者もある。この制度は比較的活用されていると認識しており、引き続き運用したい。 A4. 工事をするためにヤードが必要となるが、徳山下松港は貨物船が多く、利用できるヤードが下松しかなかったためである。 A5. 厚生労働省等が実施している認定制度を活用しており、女性活躍推進の取組や子育て支援の取組等の一定の基準を満たす企業として認定された者に対して、加点評価を行っている。今年度から全ての工事、業務において対象を拡大し、企業全体でワーク・ライフ・バランス等が推進されるための取組をわれわれとしても後押ししているものとなる。

②「水島港水島地区付帯施設工事」

Q1. 参加可能業者数のシミュレーションは16者あるが、実際の参加者は1者である。本工事に限らないがシミュレーションとの開きがあるが、条件の設定等見直しはされているのか。

Q2. 参加企業が少ない中で、要件を満たすシミュレーション結果を基に声かけしたり等はするのか。

ヒアリングした企業の回答は。

Q3. 参加企業が少ないことが想定される中で、地域貢献等追加し、参加業者を岡山県に本支店のある業者に限定している理由は。

Q4. 等級をB等級のみで設定しているが、A等級を追加するということはあるのか。

Q5. 参加資格をチェックしていく上で資格審査支援システムというシステムがあるようだが、どのようなシステムか。

○この入札・契約は適切であると判断する。

A1. シミュレーションは以前より同じ方法で行ってきた経緯がある。しかし、シミュレーション上はそれなりの数が上がってはいるが、実際の参加者が少なくなる場合がある。シミュレーションの目安となる企業が10社程度と少ない場合は参加資格の要件、過去の工事実績の緩和や年数等を拡大してシミュレーションの数を上げていくことを行っている。以前は目安の数が10社程度あれば良いとしていたが、現在は20社程度にあげるといったことを行い参加企業の確保を図っている。

A2. ホームページによる発注見通しの公表を早める、公表内容を詳細なものとする等を行っている。競争の公平性を確保するため一部の者のみ情報を提供することはできないが、できるだけ多くの者へ発注情報を可能な範囲で周知していくことは行っている。資料のダウンロードを行った者はわかるので、事後に参加しなかった理由についてヒアリングを行っている。

技術者不足や、他工事を落札したことにより技術者を配置できなくなった等の回答があった。

A3. 小規模の工事であることからB等級を参加資格としていること、当該工事は現場付近に民家が隣接し、事情に精通していることを求めたことから、地域要件を設定し地元企業に限定した。

A4. 工事の規模に対して発注ランクが決まっており、参加者が少数である場合は弾力的に広げることができるが、当該工事のようにシミュレーション上で、ある程度企業数が確保できるのであれば、通常は地元で精通した企業に参加いただくことが工事としても適正と考える。よって、B等級に設定している。

A5. 中国地方整備局（港湾空港関係）に競争参加資格を有する業者のデータを一元的に管理しているシステムである。参加業者の等級や岡山県内に本支店営業所が所在するか等を確認することができる。

③「境港湾・空港整備事務所庁舎工事」 Q1. 複雑な工事内容ではない印象を受けたが、シミュレーション上の参加可能業者数は18社ある中で、実際の参加業者は2社である。少ないと感じるが参加者を増やす努力はされているか。あるいは、事後において想定している企業が参加しなかったことについて、ヒアリングをされているのか。 Q2. 必要な資格が電気工事、また汎用性の高い工事である中で2社と少ない参加、また、予定価格に近い金額での落札に少し違和感を感じるところであるが、この結果をどのように捉えているか。 機械は同等品を求めているのか。 Q3. 予定価格超過した業者は何故超過したのか。 Q4. 落札者の評価点で施工能力等の点数が40点満点に対し15点と低いが、品質のチェックは行ったか。 ○この入札・契約は適切であると判断する。	A1. 工事の発注見通しを早く公表するといった努力をしている。また、資料をダウンロードした業者へのヒアリングを行っており、技術者が不足しているという回答が全体的にある。 A2. 今回の工事はほぼ機械の設置であり、また、機械の価格は入札参加者の見積により決定され、入札参加者に公表されている。また、積算基準も公表されていることから、近い価格となったと推測する。 そうである。 A3. 基準は公表されたものがあるので、何故超過したのかは推測できない。 A4. 納品後に品質の検査を行い、特段問題はなかった。
④「境港湾・空港整備事務所みなとカメラ設備移設等工事」 Q1. 既存施設の設置者しかできないということについて、他の業者で出来る出来ないの技術的な評価を行ったうえでの随意契約だったか。 Q2. 契約額については、見積書が提出され、その見積価格が妥当かどうかは、随意契約にあたり、検討はされたか。 Q3. その内容は入札契約手続運営委員会で確認されたのか。 Q4. 3月に契約手続きがされているが、予算消化等何か理由があるか。	A1. そこまでの技術評価は行っていないが、今回のみなとカメラ移設は、庁舎移設と同じタイミングで確実に移設を行う必要があったことから、システムの構成等を熟知している既存の施設設置者しか出来ない内容であった。 A2. 設置時の価格を把握しているため、そのときの価格と比較して、妥当と判断した。 A3. 随意契約を行う者として妥当かどうか、当該委員会にて確認を行っている。 A4. 庁舎移設に併せて、みなとカメラを移設できるように行程を組んだところ、3月に手続きを行

○この入札・契約は適切であると判断する。	う必要があった。
⑤「干潟造成技術検討業務」	
Q1. 求められているプロポーザルの評価テーマが特殊な内容であり、複数者が提出しづらい内容かと思われるが、参加可能シミュレーション結果をみると、多くの企業が参加可能となっている。テーマの難しさがシミュレーションに反映されていないように思えるが、反映しているか。	A1. シミュレーションについては、競争参加資格要件で過去の同種業務や類似業務の業務実績の有無を要件としていることから、要件をもとに、参加可能な業者が何者あるかをシミュレーションしており、テーマに対するシミュレーションは行っていない。当該業務は専門的な知識を必要とする内容であり、入札資料をDLした者からヒアリングを行ったところ、得意な分野でないとか、中国地方管内での実績がないの回答があった。
Q2. 特殊な案件の業務では1者しか参加されない場合が多いと思われるが、入札説明書をDLした者を把握されているなかで、2者以上入札に参加してもらう工夫等はされたか。	A2. 参加可能な者を増やすという観点では、昨年度から引き続く業務であったことから、類似業務の範囲を広げ、参加可能者を増やす対応を行なった。
Q3. プロポーザル評価票で実施方針が50点満点中39.4点、技術評価点合計が220点満点中189.4点という中で、何点以上とらないといけないとする基準はあるか。	A3. 実施方針の評価点と特定テーマに対する技術提案の評価点の合計点が、6割以上ないと特定しないとする基準を設けている。
Q4. 参加者が1者しかおらず、その1者が基準に達しなかったら不調となり、条件を見直して再公告をされるのか。	A4. そうである。
Q5. 見積書はどのタイミングで提出されるのか。	A5. 特定された技術提案にもとづき、仕様書を確定し、その後見積合わせを行う。プロポーザルの場合は、公示時に金額規模を公表しており、参加者は公表された金額にもとづき、技術提案を作成している。
○この入札・契約は適切であると判断する。	
⑥港湾業務艇「まつかぜ」運航	
Q1. 入札結果に記載されている金額は1回の運航あたりの単価の金額か。	A1. 運航1日あたりの金額。

Q2. 運航日がどのくらいになるかわからないから、単価契約を行い運航日数に応じて支払を行うということか。	A2. 仕様書において運航見込日数を示しているが、支払については、運航実績で支払うことから単価契約としている。
Q3. 資料において、過去C等級業者による1者応札が継続していると記載されているが、1者が独占しているという感じなのか。	A3. 等級の緩和を行うことで参加可能者数を増やす対応を行なっているが、結果的に1者応札となっている。
Q4. シミュレーションをすると71社という中で、1者応札が続いているということは参加しにくい理由があるのか。	A4. 入札説明書をDLした業者にヒアリングをおこなったが、仕様に見合う船員を確保できないということだった。
Q5. 資料に運航日数を172日として想定しているなか、契約額としては1千5百万円程度となり、船員1名に1千5百万円というのは十分な額かと思われるが、それでも参加がされないのか。	A5. 仕様書において船員を2名必要としている。また、船員が病気になったとしても仕様書に基づく運航が行える体制を確保しておくことも必要であり、船員の確保が難しいと言われている。
Q6. 1者入札が続いていることから、要件見直し等できることがあれば実施していただきたい。	A6. 現在資格要件を広島市内に営業拠点を有することとしているが、そこに廿日市市を加えること等、そのあたりの要件緩和も検討していきたいと考えている。
○この入札・契約は適切であると判断する。	

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
2. 指名停止等の運用状況の報告	
・ 18件	意見・質問なし
3. 再度入札における一位不動状況の報告	
・ 該当なし	意見・質問なし
4. 入札談合に関する情報等への対応状況	
・ 該当なし	意見・質問なし
5. 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況の報告	
・ 該当なし	意見・質問なし
6. 一者応札の発生状況の報告	
・ 6件	意見・質問なし
7. 不調・不落の発生状況の報告	
・ 1件	意見・質問なし

8. 高落札率の発生状況の報告	
・ 10件	意見・質問なし
9. 再苦情処理の報告	
・ 該当なし	意見・質問なし